



地域再生 協議会だより

百合が丘 2-29-6(老人憩いの家) 59-9356(火・金午前) isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp

音楽祭 県公社と共同開催へ

「やまゆり」11月から練習再開

再生協議会は、発足以来続けてきた音楽祭を県住宅供給公社と共同開催することになった。来年2月、ラディアンでの「やまゆり里山音楽祭」を手始めに、来年度以降もこの関係を継続する。出演者の調整、プログラム編成、広報活動などを分担して進める。協議会の後継組織での音楽祭開催が不安視されていたが、県公社との連携によって、地域主導の大型音楽イベントを継続できる



見通しになった。

協議会は音楽活動による地域の魅力アップを柱のひとつに掲げ、やまゆり合唱団の活動と独立音楽祭開催に力を入れてきた。一方、県

またこの勇姿が見られるか (写真は2019年県公社主催音楽祭)

公社も二宮団地の再編に合わせて国際こども音楽祭、古民家コンサート、歌声ダイニングなどを開いて地域の盛り上げに貢献してきた。ただ、これらの事業はコロナ禍、団地再編の進展で修正を迫られ、今年度はすべて中止したまま。そんな中で協議会音楽活動部会(三浦憲門部会長)のラディアン20周年音楽祭だけは開ける可能性が高く、両者間で話し合いが進んでいた。

来年2月の「やまゆり里山音楽祭」は、11月中にも出演者やプログラムを決める。出演者では、協議会は地元演奏家と合唱団、公社はユースクラシック中心の構成を検討中。なお、コロナ禍で活動を停止していたやまゆり合唱団は、11月からの練習再開を決め、準備に入った。2月の音楽祭に焦点を合わせた練習曲の選定、ウイズコロナ下での練習方法などを検討している。

お試し移住の応募、50組に迫る

10月から始めた空き家対策部会(廣上正市部会長)のお試し移住募集が極めて順調だ。23日(土)までの申し込みが、4組募集に対して10倍超の47組に達した。応募締め切りの11月5日(金)までにはさらに増える。今回の募集は11、12月末の2泊3日枠であり、来月には来年1、2月末実施の日程を決め、さらに募る。応募が多くなっているのは、コロナ禍でのテレワーク就業が大きな流れとして続いていることが背景にあると思われる。